

分野	事業	事業概要	R2年度実績（上段）及びR3年度実施（下段）状況
普及啓発	<p>相談窓口案内「気づいてくださいこころのサイン」を活用した普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとりで悩まず相談を」というメッセージと相談窓口の情報を広く伝えることを目的に作成。 ・児童生徒を通じて家庭に情報へ届けるため全小・中・高等学校へ配付。待ち時間等に手に取ってもらえるよう病院、薬局、歯科医院へ配架。 ・キャンペーンや研修会等の参加者へ配付するなどの機会を通じ広く周知普及啓発を図る。 	<p>【配布・配架先】全小中学校、高等学校児童生徒教職員、病院・薬局・歯科医院・ハローワーク等公共施設、民生委員児童委員、よろず相談センター等関係団体、各種研修会・会議、イベント・キャンペーン、駅地下広告板（拡大したものを掲示）、市民課（転入者用資料）、健康課（こんにちは赤ちゃん事業）、労働セミナー、窓口各課、JR平塚駅構内、家族介護教室（配布数約55,000枚）</p> <hr/> <p>【配布・配架先】掲載されている関係機関、市役所の窓口各課、商店会、市工連、庁内研修、市民課（転入者用）、健康課（妊娠届け出時、こんにちは赤ちゃん訪問時）、家族介護教室、女性への生理用品配布時、ハローワーク、精神科クリニック、ゲートキーパー養成研修時、小・中・高校の児童生徒及び教員、保育所、認定こども園、自殺予防週間パネル展、図書館、コンビニエンスストア、駅北口中央通路、医師会、歯科医師会</p>
普及啓発	<p>メンタルヘルスセルフチェックシステム「こころの体温計」を活用した普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層にうつへの早期気づきを促すとともに心の健康に関心を持ってもらうことを目的に、パソコンや携帯電話を使って簡単にストレスや心の落ち込み度がチェックできるメンタルヘルスセルフチェックシステムを導入し、サービス提供。 ・併せて各種相談窓口の情報も掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全8メニュー（「本人モード」「家族モード」「あかちゃんママモード」「アルコールチェックモード」「ストレス対処タイプテスト」「いじめのサイン守ってあげたい！」「これって愛？、これってDV？」「大切な人を突然亡くされたあなたへ」）をパソコンおよびスマートフォンAndroid版アプリ、ios版アプリで公開。 ・新メニュー2種「楽観主義のすすめ」（R2年9月～）、「睡眠障害チェック」（R3年3月～）を追加し、全10メニューになった。 ・R2年度末でアプリは終了。 ・R2年度アクセス数：42,997件 <hr/> <p>・自殺予防週間で、キャンペーングッズに「こころの体温計」を掲載して配布、庁内ポータルで市職員へ周知し利用を促した。</p>

分野	事業	事業概要	R2年度実績（上段）及びR3年度実施（下段）状況
普及啓発	自殺予防週間関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・9月10日の世界自殺予防デーに因み、9月10日からの一週間は自殺予防週間（自殺総合対策大綱）。 ・期間中、自殺予防啓発活動を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等へ自殺予防啓発ポスター掲示 ・広報ひらつか・ホームページへ関連記事掲載、FM湘南ナパサでの情報発信 ・図書館で「こころと命のサポートのための本」のコーナー設置を実施。 ・新型コロナウイルスの影響により街頭キャンペーンを中止、公共施設、市内スーパーマーケット、信用金庫等にリーフレット等を新たに配架。 ・デジタルサイネージによる情報発信（平塚駅北口駅前の河川情報表示板、ららぽーと湘南平塚、市民課および障がい福祉課） ・「こころの体温計」に新メニュー追加。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等へ自殺予防啓発ポスター掲示、FM湘南ナパサでの情報発信 ・図書館で「こころと命のサポートのための本」のコーナー設置を実施 ・新型コロナウイルスの影響により街頭キャンペーンは行わず、市役所多目的スペースでのパネル展でグッズ配布、中学生の作成したポスターを展示。 ・相談窓口リーフレットをコンビニエンスストア、神奈川県労務安全衛生協会平塚支部会員事業場へ配布。 ・庁内ポータルで市職員向けに周知。
	自殺対策強化月間関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、月別自殺者数の最も多い3月は自殺対策強化月間。 ・期間中、関係団体等と連携して、自殺対策について広報啓発活動を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所多目的スペース、公共施設等へ自殺予防啓発ポスター掲示 ・広報ひらつか・HPへ関連記事掲載、FM湘南ナパサでの情報発信 ・中央図書館で特設コーナー設置・返却スリップ（返却期限を記載して貸出時に渡すしおり）にメッセージ記載。こころと命のサポート特集映画会は新型コロナウイルスの影響で中止。 ・3/10 初めて「いのちとくらしの総合相談会」実施 ・3/18 街頭キャンペーン実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「いのちとくらしの総合相談会」開催予定。
	視聴覚教材を活用した普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題や命の大切さをテーマとしたDVDやビデオを学校の道徳授業や人権教育に活用してもらうよう貸出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出実績：なし <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・5/25 小中学校人権教育担当者会にて周知

分野	事業	事業概要	R2年度実績（上段）及びR3年度実施（下段）状況
普及啓発	命の尊さの普及啓発 (協働事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから本を通じた地域活動をしている団体と協働し、読み聞かせ等の活動を通じて「命の尊さ」の普及啓発や、自己肯定感を高めてもらうことを目的とした事業を実施。 協働先団体：浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業で作成した「いのちの尊さをつたえる本」Vol.4のリストを活用し、読み聞かせの実施を依頼 ・他地区の協議会にも配付して取組を紹介し周知・活用を図った ・「今月のおすすめ本」2冊を、コメントをつけて市のホームページで紹介 ・浜岳中学校と大野中学校に協力を依頼していた、自殺予防啓発ポスターの作製、街頭キャンペーン、保育体験ボランティア（子どもたちとのふれあいと通じて自己肯定感を育む。※浜岳中学校のみ）は新型コロナウイルスの影響により中止。 ・「いのちの尊さをつたえる本」Vol.5の選本を、他地区にも呼びかけ、読書ネットを通じてブックリストの作製準備を始めた。
	広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット配布、ポスター掲示、HPやラジオでの情報提供、広報紙や機関紙等に関連記事掲載。 ・広報ひらつか記事掲載（わかちあいの会（自死遺族の集い）開催日程の周知）。 ・FM湘南ナパサでこころの体温計等事業紹介、情報提供。 ・HPやポスターを活用した情報提供、メッセージ発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ひらつかでの周知：6回 ・FM湘南ナパサでの情報提供：7回 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・広報ひらつかでの周知：4月、7月、11月 ・FM湘南ナパサでの情報提供を計画：4/6、6/29、8/31、10/26、12/7

分野	事業	事業概要	R2年度実績（上段）及びR3年度実施（下段）状況
人材育成	講演会等	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ、人と人とのつながり、家族の絆、心の問題等をテーマにした講演会を実施。 ・中学生に命の尊さを伝えるとともに自己肯定感を高めてもらう「生き方・命の大切さを学ぶ講演会」を実施（中学校との共催企画）。 	<p>「生き方・命の大切さを学ぶ講演会」 実施：3校（土沢中・中原中・旭陵中）</p> <hr/> <p>「生き方・命の大切さを学ぶ講演会」 実施予定：3校（大住中、神明中、大野中）</p>
	ゲートキーパー養成	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺問題への正しい理解を深めてもらうとともに、身近な人の様子の変化に「気づき、声かけ、話を聴き、必要に応じて相談へつなげ、見守る（支え合う）」ことの大切さを伝えるために、養成講座を開催。 ・修了者には、グリーンのピンバッジ（神奈川県作成）を配付し、ゲートキーパーへの理解を広げていく。 ・情報宅配便のメニューとしても提供。 	<p>研修回数4回 計75人養成 ①大学生…9/1 ②新採用職員…9/11 ③専門学校生…10/19 ④スクールカウンセラー…1/7</p> <hr/> <p>①新採用職員…6/4 ②企業メンタルヘルス推進担当者…7/6、7/14、7/15、7/30 ③大学生…9/10</p>
	自殺対策研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、関係団体、職員等を対象に実施。 ・神奈川県等が実施する研修会に職員を派遣し職員の資質向上を図る。 	<p>【開催研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校教頭研究会研修…7/6（新型コロナウイルスの影響により中止） ・小中学校人権担当者研修…2/16（新型コロナウイルスの影響により中止） <p>【受講研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域自殺対策担当者会議（書面開催）…7月 ・自殺のない社会づくり市区町村会ブロック研修会…8月 ・2020ゲートキーパー養成研修（書面開催）…8/24 ・自殺対策基礎研修2（自殺未遂者支援研修）（書面開催）…11月 ・企業向け新型コロナウイルス感染症研修会…12/7 ・自死遺族支援事業担当課連絡会議…12/11 ・第2回地域自殺対策担当者会議（書面開催）…12月 <hr/> <p>【開催研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校教頭研究会研修…11/10「困っている子どもの背景と理解～コグトレを使った具体的な支援～」講師：高村希帆氏 <p>【受講研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策基礎研修1（自死遺族支援研修）…7/6 ・地域自殺対策担当者研修及びゲートキーパー養成指導者研修…7/13 ・生きることの包括的支援のための基礎研修…9/17 ・自殺対策基礎研修2（自殺未遂者支援研修）…11/11

分野	事業	事業概要	R2年度実績（上段）及びR3年度実施（下段）状況
推進体制	自殺対策庁内会議	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係22課の課長職により構成。 ・関係各課の連携・協力体制の構築、情報共有のために設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策計画の事業や取組の状況把握、計画内容の点検等を行った（書面にて実施） ・事例検討会（担当者会議と合同研修）…7/16「自殺未遂者を含む自殺ハイリスク者の基本的な知識と対応方法」講師：山本賢司氏 ・第1回会議（担当者会議と合同開催）…10/27通知 地域福祉リーディングプラン中間点検について（書面開催）
	自殺対策担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係22課の担当職員＋平塚保健福祉事務所、社協、平塚警察で構成。 ・市民から寄せられる様々な相談が適切な支援につながるよう、関係各課の連携、情報の共有、また自殺対策に関する知識を深めていくために開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策計画の事業や取組の状況把握、計画内容の点検等を行った（書面にて実施） ・事例検討会（庁内会議と合同研修）…7/16 ・第1回会議（庁内会議と合同開催）…10/27通知 地域福祉リーディングプラン中間点検について（書面開催） ・研修（教頭研究会と合同研修）…11/10
	平塚市自殺対策会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市民のこころと命を守る条例第16条に基づき、総合的な自殺対策を推進するため、平成22年度に設置。平成25年度から附属機関。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9/23 開催 ・11/16 開催
その他	自殺者等の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府「地域における自殺の基礎資料」（警察庁自殺統計ベース／厚生労働省人口動態統計ベース）等から入手できるデータによる実態把握。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺未遂者については、救急搬送（自損）件数による人数等を把握（消防救急課） 出動：152件 搬送：131人
	福祉総務課 保健福祉総合相談	<ul style="list-style-type: none"> ・複合的な課題を抱える相談者に対する支援として、総合的に相談内容を把握、整理し、複数の窓口にあたる相談については担当課との連絡、調整を行い、解決を図る。 ・保健福祉に関する情報の収集及び提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来所・電話相談、窓口案内等に対応。 ・関係各課、関係機関との連携及びつなぎに際し専門知識が必要となる困難ケース等の相談については社会福祉士および精神保健福祉士が対応。 ・相談件数：564件（内、こころの健康相談件数：76件）
	くらしサポート相談	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援法の施行を受けH27年4月1日から保健福祉総合相談に「くらしサポート相談」の窓口を併設し、生活困窮者の相談支援を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員4名を配置。併せて社会福祉協議会の貸付相談の相談員を2名置き、保健福祉総合相談とくらしサポート相談、貸付相談が一体となって相談支援ができる体制を取っている。 ・相談件数：来所6,507件、電話3,460件

分野	事業	事業概要	R2年度実績（上段）及びR3年度実施（下段）状況
その他	自死遺族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自死遺族の方が利用できる相談窓口の周知。 ・自死遺族の方への理解を深めるための研修等の実施。 ・わかちあいの会（自死遺族の集い）開催とあり方の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかちあいの会」（県と共催）：4回 ・年6回開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により4月、6月は開催を中止した。 ・自死遺族の方が利用できる専用相談窓口、わかちあいの会の情報を周知。
	いのちとくらしの総合相談会	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺に至る要因が複合的であることを踏まえ、複数分野の専門家・相談員が連携して総合的な支援を行う総合相談会（いのちとくらしの総合相談会）を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかちあいの会」6回開催を計画（4/20、6/1、8/3、10/5、12/7、2/1） ・新型コロナウイルス緊急事態宣言のため、8月は開催を中止した。 ・3/10 初めて実施。 ・市民の様々な悩みに対して、それぞれの相談窓口の相談員・専門職が一堂に会して相談を受ける機会を設けることで、必要な支援やサービスにつながるきっかけを作ることができた。 ・3月に1回開催予定。